

<https://www.unicef.or.jp/news/2018/0160.html>

BTS Speech

皆さん、Learn Japanese with Noriko、シーズン2。

今日はとても真面目な話です。自分自身を愛そう、自分自身を大切にしよう、自分自身を語ろうということについて話していきたいと思います。

先日私のエピソードで「推しの世界」ということについて話しましたね。推し。好きで好きでしょうがないもの。ファン。私は、今の推しは、何とK-POPのBTSです。BTS、BTS。はい、BTSが好き。何か文句ありますか。

はい、その BTS はユニセフのグローバルサポーターなんですよ。そして、随分昔の話ですが、2018年ニューヨークにある国連の本部で「自分自身を愛そう、自分自身を語ろう」というスピーチをしたんです。そのスピーチはもちろん英語でされたんだけど、素晴らしい日本語訳を見つけました。「ユニセフ。BTSスピーチ」というキーワードできっと見つけることができると思います。このスピーチの日本語訳を紹介したいんですね。

まず、このキャンペーンは「Love Myself」「私自身を愛そう」というキャンペーンだったそうですね。本当の愛は、自分自身を愛することから始まるというコンセプトのキャンペーンで、世界中の子どもと若者を守る、保護することを目的としたキャンペーンだったそうなんです。そのキャンペーンを助けたのが、BTSだったんですね。そして、この国連でのスピーチは、BTSのリーダーが英語でもとても良いスピーチをしたんです。私全部は読みません。ね、日本語訳ももちろん長いんだけど、一部だけを紹介します。ま、一部と言っても、結構長いかもしれない。ちょっと聞いてみてください。ここから言うのは、ユニセフのページから取ったものです。行きますよ。これはBTSのリーダーの言葉です。スピーチ。

さてまずは僕自身の話から始めたいと思います。

僕は 韓国・ソウル近郊のイルサンで生まれました。湖や丘のある本当に美しい町で 毎年フラワーフェスティバルも開催されています。僕は そこで幸せな幼少期を過ごし、ごく平凡な男の子でした。夜空を見上げて想いを巡らせたり、男の子らしい夢を見たりしていました。僕は世界を救えるスーパーヒーローだ、なんて想像もしていました。

僕たちの初期のCDアルバムのイントロに「9歳か10歳のとき 僕の心臓は止まった」という歌詞があります。振り返れば、他人が僕のことをどう思っているか、どう見えるかを、心配し始めたのが、その頃だったと思います。

夜空や星を見上げて空想することをやめ、他人がつくりあげた型に自分を押し込もうとしていました。自分の声を閉ざし、他人の声ばかり聞くようになりました。誰も、僕自身でさえ、自分の名前を呼びませんでした。心臓は止まり、目は閉ざされました。

このように、僕は、僕たちみんなは、名前を失い、幽霊のようになりました。

この部分はスピーチの最初の部分ですね。たくさん夢を持っていた子供の頃。でも、いつ頃か、その夢が消えたんです。なぜなら、他人の声ばかり聞くようになったんですね。男の子はこうあるべき、こういう大人になっていくべき、もっと勉強しなさい。大人の価値観を押し付けられて、他人

が作り上げた型に自分が押し込まれていって、そして自分らしさがなくなっていった。だから、「名前を失い、幽霊のようになりました」と言っているんです。

では、スピーチを続けます。

でも、僕には音楽がありました。自分の中で小さな声がありました「目を覚ませ！自分自身の声を聞くんだ」。それでも音楽が僕の本当の名前を呼んでくれるまで長い時間がかかりました。

BTSのメンバーになると決めた後でさえたくさんのハードルがありました。信じられない人もいるかもしれませんがほとんどの人が僕たちには見込みがないと思っていました。やめたいときもありましたが諦めずにここまで来られてとても幸運でした。

そうやって僕もみんなもこれからつまずいたり転んだりするでしょう。

BTSは大きなスタジアムで公演し数百万枚ものアルバムを売り上げるアーティストになりました。でも僕は今でも平凡な24歳の青年です。僕が何かを成し遂げたのだとしたらそれはBTSのメンバーが側にいてくれて世界中のARMYが愛とサポートで支えてくれたからです。

昨日、僕はミスをしたかもしれません。でも、過去の僕も僕には変わりありません。今の僕は、過去のすべての失敗やミスと共にあります。明日の僕が少しだけ賢くなったとしても、それも僕自身なのです。失敗やミスは僕自身であり、人生という星座を形作る最も輝く星たちなのです。

僕は今の自分も過去の自分も将来になりたい自分もすべて愛せるようになりました。

これはスピーチの真ん中の部分ですね。いろいろ悩んだ、ま、ティーンエージャーの時。でも、やっぱりこのリーダーには、BTSのリーダーには、音楽があったんですね。「目を覚ませ、自分の好きなことをやりなさい、自分の声を聞くんだ、自分らしく生きなさい」そう思えた時に、少しずつ前に進むことができ、BTSのメンバーになって、今では世界中で知られるボーイズバンドのメンバーになったわけです。そして、失敗した、悩んだ過去も、そして、これからの自分も全て愛せるようになったということなんですね。つまり、あんなに成功している彼でも、失敗したことは何度もある。私たちのように、同じように悩んだ時期もある。みんな同じ時期を乗り越えていっているんです。

それでは、次はスピーチの最後の部分を読みたいと思います。

最後にもうひとつ話したいことがあります。

アルバムをリリースし『LOVE MYSELF』キャンペーンを始めてから世界中のファンから素晴らしいストーリーが届き始めました。僕たちのメッセージが人生の困難を克服し自分自身を愛する助けになったこと。そうしたストーリーは僕たちが担う責任をいつも思い出させてくれます。

だから僕たちみんなでもう一歩前に踏み出しましょう。

僕たちは自分自身を愛することを学びました。だから今度は「自分自身のことを話そう」。

あなたの名前は何か？ 何にワクワクして何に心が高鳴るのか あなたのストーリーを聞かせてください。

あなたの声を聞きたい。あなたの信念を聞きたい。

あなたが誰なのか、どこから来たのか、肌の色やジェンダー意識は関係ありません。

ただ、あなたのことを話してください。話すことで、自分の名前と声を見つけてください。

僕はキム・ナムジュン。BTSのRMです。

アイドルです。韓国の小さな町で生まれたアーティストです。

他の人と同じように、人生でたくさんのミスをしてきました。

たくさんの失敗も恐れもあるけれど、自分を力いっぱい抱きしめることで、少しずつ自分自身を愛せるようになりました。

あなたの名前は何か？自分自身のことを話してください。

どうでしたか。最後のところ、とても強いメッセージがあると思いました。皆さん、とても難しい日本語訳のスピーチだと思います。難しい言葉もたくさん、出てきましたね。でも、言いたいことは、自分自身のことを愛してください、話してください、あなたが誰なのか、どこから来たのか、肌の色やジェンダーは関係ないと言っているんです。

私はのりこです。日本人です。今イギリスに住んでいるオンラインの日本語教師です。日本の岡山、小さな田舎で生まれました。もうすぐ50歳になります。人生でたくさんのミスをしてきました。悩んできました。昔々私は自分の体や顔が好きじゃなかった。自分のことをブスだと思っていて、自信がなかった。スキルもなかった。でも、今たくさんの失敗をして、たくさんの経験をして、自分のことが好きになってきました。自分のやっていることに自信を持ってきました。

皆さん、あなたの名前は何か。自分自身のことを愛してください。自分自身のことを話してください。

はい、ということで、今日はとても真面目な話をしてみました。皆さん、是非このトピックについて考えてみてくださいと嬉しいです。じゃあ、以上です。またね。